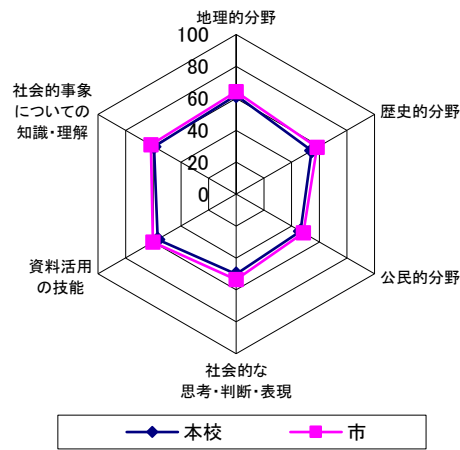


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	61.9	64.1	57.5
	歴史的分野	54.5	58.4	52.8
	公民的分野	46.6	48.5	40.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	50.1	53.6	47.5
	資料活用技能	56.9	60.3	53.3
	社会的事象についての知識・理解	59.5	61.8	55.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	○資料から変化をとらえる問題や地形名を答える問題に関しては、市の平均より4.5ポイント高い。 ●複数の資料を利用して考察する問題の正答率は市の平均より6.3ポイント低い。	・一つ一つの資料を丁寧に読み取る力を育てる学習を多く取り入れ、その後、複数の資料を読み取ってわかることをまとめさせる学習を行うことにより、資料の活用能力、社会的な思考能力を伸ばす。
歴史的分野	○江戸時代の政治、産業に関する問題は、市の平均とほぼ同じである。 ●飛鳥時代から平安時代に関する事項は、市の平均より6.6ポイント低く、定着していない。	・時代の順番をきちんと押さえさせ、各時代に活躍した人物、政治の様子、産業の様子などをまとめさせる学習を行って歴史の流れをつかませる。また、地理同様、複数の資料を読み取る学習を多く取り入れる。
公民的分野	○日本国憲法に関する問題に関しては正答率は市の平均とほぼ同じである。 ●基本的人権の種類、特に社会権・新しい人権についての知識の定着が不十分であった。また、説明する問題については、市の平均を6.6ポイント下回り課題を残した。	・基本的人権の種類に関しては、平等権・自由権・社会権・基本的人権を守る権利に分け、図で示す力を育てる。 ・生徒自身の生活と結び付く身近な資料を提示し、関心を高める。